

指定管理者管理運営状況評価

| | |
|--------|---------------|
| 評価対象施設 | さいたまスーパーアリーナ |
| 指定管理者 | 株式会社 さいたまアリーナ |
| 評価対象年度 | 令和5年度 |
| 施設所管課 | 都市整備政策課 |

| 評価項目 | 評価 | コメント |
|--------------------------|----|--|
| ①効率的かつ効果的な運営 | A | イベントと施設点検のスケジュール調整を部署間で行い、安全を確保しながら高い施設稼働率・利用料金収入を確保できるよう運営している。 |
| ②快適な施設利用のためのサービス提供 | A | 来場者に対するサービス向上だけでなく、イベント主催者の要望にも速やかに対応し、より快適な施設利用が可能となるよう努めている。 |
| ③適切かつ高水準の施設維持管理 | A | 施設を原因とする事故は発生していない。施設管理者として、施設の状況を把握し、施工業者と十分に調整をした上で修繕を実施している。 |
| ④さいたまアリーナを核とした新都心のにぎわい創出 | A | イベント件数はコロナ禍前の数値に戻りつつあり、自主事業も内容を工夫して実施するなどにぎわい創出に貢献している。 |
| ⑤数値目標達成度 | A | 利用料金収入は管理目標を上回っている。アリーナの稼働率、さいたまスーパーアリーナ及びけやきひろばへの来場者は、管理目標で設定した数値には及ばないものの、コロナ禍前の水準へ回復している。 |
| ⑥その他(県への貢献など) | A | 幅広いジャンルのイベントを誘致するなど、公共施設としてのアリーナのあり方を十分に理解をしている。 |
| 総合評価 | A | |

| | | |
|------|-----------------|--|
| 特記事項 | 特に評価すべき点 | 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した中で、イベント需要の高まりを逃さず、高い収益を上げた。 |
| | 次年度に向けて改善が望まれる点 | 利用余地のある展示ホールとTOIROについて、利用促進及び稼働率向上が望まれる。 |